

平成 2 5 年度行政評価結果報告書
(平成 2 4 年度実施事業)

平成 2 6 年 3 月
行方市行政評価委員会

1.点検・評価制度の概要

(1)目的

市が実施する事務事業について、行政以外の第三者の視点から評価を受け、公共性、必要性、妥当性などの現状確認と課題の解決方策等を検討し、その成果を効果的かつ迅速に行政に反映することを目的としています。

教育委員会では、平成20年4月の法律の一部改正により、事務事業について外部委員による評価を受けて公表しています。法律による実施の義務付けがない市長部局においても、平成23年度から事務事業の外部評価を実施しているところです。

(2)対象事業

本年度の対象事業は、平成24年度に実施した事務事業のうち、次のことに留意して主要な50事業を選定しました。

- ①平成24年度行政評価からの継続評価・・・15事業
- ②平成25年度事務事業評価の2次評価(担当者)において、「拡充」及び「事業の見直し」の評価・・・10事業
- ③平成25年度予算 重点事業・・・6事業
- ④その他(事業の拡大、事業の見直し、事業効果の検証などが必要な事業)・・・19事業

(3)学識経験者の知見の活用

各課が行った点検・評価(自己評価)の内容について、企画、財政、及び行政改革の担当部局による事務事業評価を実施するとともに、市内の有識者4名に「行政評価委員」を委嘱して事業の総合評価を行った。

○行政評価委員名簿

氏名	住所	役職・経歴等
海老澤文江	行方市宇崎	会社員、女性消防団、観光協会
方波見晴男	行方市吉川	商工会役員、自営業
高野 幸男	行方市蔵川	団体職員、元行方市役所管理職
新堀 秀雄	行方市玉造甲	学校評議員、元エールフランス航空管理職

2.点検・評価の結果

(1)事務事業評価シートにより、事業ごとに「事業の目的とねらい:何のために事業を行うのか、事業の果たす役割を具体的に記入」、「現況と課題:事業実施に至った背景やこれまでの経過、

現在の市民のニーズや課題など事業を取り巻く状況を記入」、「事業内容:目的達成のため、どのような取り組みを行うのか具体的な活動内容を記入」、「事業の対象者:主たる対象者は誰か」について担当課が記載しました。

(2)事業ごとに「担当者評価(1次評価)」・「所属長評価(2次評価)」について担当課が自己評価し、財政課・秘書課(行政改革担当)・企画政策課による担当課へのヒアリング後に「事務局評価(3次評価)」を行い、行政評価委員の意見を加味したうえで総合評価の決定をしました。

①1次評価(担当者評価):「妥当性」・「成果」・「効率性」の3つの分野で、社会状況や市民ニーズを適切に踏まえているか、目的を果たすために有効な事業か、コストを下げる方策はないのかなどについて評価をしました。

②2次評価(所属長評価):担当課長により、「拡大」・「現状維持」・「完了」・「見直しの上継続」・「縮小」・「廃止・休止」の評価をつけ、評価の理由と今後の方向性について記載しました。

③3次評価(事務局評価):「拡大」・「現状維持」・「完了」・「見直しの上継続」・「縮小」・「廃止・休止」の評価をつけ、評価の理由について記載をしました。

④行政評価の方法:「拡大」・「現状維持」・「完了」・「見直しの上継続」・「縮小」・「廃止・休止」の6段階により評価し、評価した理由及び今後の取り組みとその効果について記載しました。

(3)事業別評価結果

番号	事業名	評価結果					
		拡大	現状	完了	見直し	縮小	廃止
1	交通安全教育啓発事業	○					
2	防犯灯施設整備事業		○				
3	消防ポンプ自動車等購入事業		○				
4	防災減災対策事業	○					
5	広報事業		○				
6	地区懇談会・市長出前ふれあい懇談会事業				○		
7	東関東自動車道水戸線整備促進事業		○				
8	ふるさと納税事業		○				
9	行方市フィルムコミッション事業		○				

番号	事業名	2次評価結果					
		拡大	現状	完了	見直	縮小	廃止
10	国際交流・地域間交流推進事業		○				
11	新公共交通システム事業		○				
12	茨城空港利活用協議会事業					○	
13	ブランドマーク(マスコットキャラクター)作成事業	○					
14	定住住宅取得支援事業		○				
15	市有地管理事業		○				
16	納税組合事業						○
17	不動産公売・インターネット公売事業		○				
18	福祉バス運営事業		○				
19	災害時要援護者避難支援プラン事業	○					
20	羽黒山荘高齢者センター事業					○	
21	放課後児童クラブ・降園後保育事業		○				
22	子育て広場事業		○				
23	敬老祝賀・長寿祝い金事業				○		
24	シルバーリハビリ体操普及事業		○				
25	家族介護慰労金		○				
26	成年後見制度・虐待早期防止事業		○				
27	地域医療協議会・水郷医師会事業		○				
28	保健協力員事業		○				
29	出産報奨金事業		○				
30	心の相談・デイケア事業		○				
31	国保税賦課・徴収事業		○				
32	狭あい道路整備等促進事業		○				
33	公園管理事業		○				
34	市町村設置型浄化槽推進事業		○				
35	鳥獣被害対策協議会事業		○				
36	なめがた食彩マーケット会議事業		○				
37	なめがた農業応援団育成事業		○				
38	6次産業化推進事業		○				

番号	事業名	2次評価結果					
		拡大	現状	完了	見直し	縮小	廃止
39	国内外販路開拓事業		○				
40	茨城空港周辺資源活用推進連絡会事業				○		
41	新製品等販売促進支援事業		○				
42	行方市無料職業紹介事業		○				
43	観光振興事業		○				
44	まちづくりイベント事業		○				
45	北浦大橋・鹿行大橋周辺観光事業		○				
46	不法投棄防止対策事業		○				
47	八木蔭地区生活排水路浄化施設事業		○				
48	食品放射能測定事業		○				
49	料金の調停・収納事業		○				
50	配水管等施設整備事業		○				

※28「保健協力員事業」・・・地域の健康づくりの担い手として、現状維持の評価にしましたが、発展的な見直しが必要であるとの意見がありました。今回の意見を受けて、平成26年度におきましては、健康診断の取りまとめであった保健協力員の業務を見直し、個人が健康診断の申込みを郵便はがきやホームページなどで簡単にできるようになりました。また、地域における健康づくりの担い手を育成するシステムを構築していくことになりました。

※45「北浦大橋・鹿行大橋周辺観光事業」・・・調査事業は終了していますが、全市的な観光戦略を立てて計画的に事業を展開するとの意見がありました。

(4)行政評価委員会からいただいた意見については、「別紙」にまとめて記載しました。